

学校教育目標	自ら考えよく学ぶ生徒・心豊かで思いやりのある生徒・心身ともに健やかな生徒
目指す学校像	落ち着きと調いのある学び舎

達成度

ほぼ達成（8割以上）
概ね達成（6割以上）
実化の兆し（4割以上）
不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者（教職員を除く）	3名
事務局（教職員）	9名

学 校 自 己 評 価					
領 域	現状と課題	年 度 目 標		年 度 評 価（令和7年2月10日現在）	
		重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	次年度への課題と改善策
組織運営	・教職員の経験年数が少なく、本校在職年数が少ない ・学級数が比較的多い学校での推進力となる教職員の育成 ・働き方改革と並行した、これまでの本校の取り組みの継承	○教職員一人一人の職務能力を向上させる	○教員の指導力向上を目指す校内・自主研修の実施 ○校務分掌を一人一役主担当とし、教頭と協力した育成 ○管理職との事前相談及び複数年連続経験による育成	○人事異動もあり、校内体制も変わったことから主体的な研修を積極的に実施するまでには至らなかった。 ○多くの教職員が主担当に充てるようにし、育成を図った。 ○事前相談及び複数年同一の分掌に充てることで、一定のレベルまで育成できた。	・教職員の構成も若手が多い。利点として、活力があり、前向きである。伸ばししろとして、先を見通してレベルアップしていく点がある。組織も大きいことから、全体の推進力となって、提案型で活躍できる教職員を育成していく。
		□全体の推進力となるリーダーを育成する □組織力を向上させる	□主担当者に仲年度末作成した業務改善シートを活用した計画的校務分掌の計画的実施 □分掌内での分組を明確化	□業務改善シートを計画的に適用するまでには至らなかった。 □分組の明確化に意識することができた。	
		○学校における「働き方改革」を推進する	○新たな日課表に基づく学校生活の定着 ○時間を意識した計画的・効率的勤務の推進 ○退勤目標時間17時45分 ○業務改善シートの活用	○今年度新たに実施した日課表は、根付いてきて、 ○勤務時間を意識した働き方に取り組めるようになってきた。1月の時間外在校時間は約2時間半であり、県目標時間以内であった。80時間オーバー者はいない。 ○効率的・計画的な勤務に向けて、引き続き業務改善シートを活用し、先を見通して仕事に取り組めるようにする。	
教育課程	・新学習指導要領全面実施に伴う、履修内容の完全実施と新たな評価法に基づく学ぶ意欲を高める教育活動への授業改善	○指導内容の系統性を確立し、学習内容を着実に定着せる	○年間指導計画の作成と保護者へのシラバスの提示 ○教科部会における定期的な授業連携の確認と修正 ○次年度に生きた年間指導計画の作成	○シラバスを提示し、計画的に学習指導することができた。 ○教科部会において定期的な授業連携の確認と修正ができた。 ○計画的・随時に教科ごとに進み具合を確認しあい、お互いが授業を参観しあうことで、修正できた。 ○次年度に向けて、現在作成中。	・学習指導要領に基づいた授業実践として、学習形態の改善への取組という大きな成果がある。今後は、学習内容が身に付き、自ら一歩進んで学習できる生徒を育成できるよう取り組ませていきたい。
		□主体的で対話的な学習活動を実践させる	□話し合い活動や問題解決型の学習など主体性を生かした、対話的で深い学びの授業の推進 □毎月第三週の授業改善週間の設定 □グループ活動、ゼミ対を積極的な活用 □校内・校外の授業研究会の積極的な参加	□学習形態を工夫し、学習者主体の学びに近づけるよう取り組んでいた。 □授業改善週間と併せて、相互授業参観を実施した。 □ゼミ対の個人活用から、全体の意見集約などに活用の幅を広げることができた。 □他校の授業研究会に連日で参加するよう「自己評価シート」に位置づけさせた。参加者には、全体の前で他校の授業を伝えさせた。	
		○学習内容を定着させ、一人一人の学力を向上させる	○毎時間の授業の振り返りの定着 ○自尊感情を高める適切な評価の実施	○板書やノートづくりの工夫や、授業のその身に着ける授業改善にも取り組ませたい。 ○研究が生かされていない部分があった。	
開かれた学校づくり	・コロナ禍で活動は制限されていたが、学校運営協議会を設置したコミュニティスクールとしての活動の充実させていく	○学校運営協議会を定期的に開催し学校経営に生かす	○年間の会議計画の立案	○曜日の変更があったが、計画通り実施できた。	・保護者メールや保護者宛て通知、学校公開や地域行事への参加などで、情報の発信はできた。今後は、地域や保護者と学校との共同の取組を実施したい。
		□学校運営協議会の活動内容の充実させる	□トイレ清掃に向け学校運営協議会委員・保護者の協力の確保	□トイレ清掃に向けての取組は、実施できなかった。 「ほっとルーム」の活動に参加していただいた。	
		○学校の情報を保護者・地域への積極的提供する	○学校ホームページ掲載記事の年間計画の作成と実施 ○保護者メールの積極的な活用 ○保護者あて配布プリントの保護者メールでの添付送信	○遅れる時もあったが、年間の計画に基づいてほぼ実施できた。 ○保護者あてメールは、積極的に活用できた。 ○実施できた。	
教職員の資質向上	・経験年数が二極化し、中堅層の教職員が不足している ・推進役となるリーダー層を育成し、広い視野や先を見通した取り組みの実施させていく	○校内研修と自主研修を実施させる	○実力向上に向け経験年数に応じた市や県の研修の受講 ○校内の研修の充実	○人事評価制度に基づく「自己評価シート」に他校研修への参加を位置付けた教員も多かった。 ○回数的に満足できるものではなかった。	・若手の教職員が多い中、経験不足は避けることができない。育成には時間がかかるが、保護者や社会からの教職員への期待は大きい。人事異動もあることから難しい面もあるが、各人一つは詳しい校務分掌を身につけさせたい。
		□OJTを実施させる	□一人一役、主になる校務分掌の経験	□多くの教職員に主となる分掌を充てることができた。	
		○ベテラン教職員の豊かな経験を伝達させる	○ベテラン教職員とペアで組ませた主任層の育成 ○ベテラン教員の活躍の場の設定	○主に学年主任に対してベテランの教員を補佐役に充て、時に校長からベテラン教員に指示を出して育成した。 ○ベテランという捉えよりも、各個人の活躍の場の設定をした。	
施設・設備等の管理	・経年劣化が激しく、修繕必要箇所が多く見られる ・時代の変化に合わせてICT関連機器を設置していく	○計画的・随時の点検で修繕箇所を常時把握する把握する	○定期的な安全点検の実施 ○計画的修繕計画の策定と教職員の分掌を活用した点検の徹底	○定期的な安全点検は実施した。 ○体育館の照明や随時の点検も実施できた。	・市教委に対して、継続的に申し続けていく。与えられた、施設・設備に対しては、大切に使用する意識をまず教職員に持たせ、生徒にも指導させていく。
		□GIGAスクール構想に基づく授業実施に必要な機材適宜を購入する	□必要なICT関連機器の設置と管理の徹底 □予算の有効活用	□市教委に対して、継続的にICT関連機器の設置を働き掛けている。	
		○	○	○	